

TOTO

小型電気温水器 湯ぽっと REW-Dシリーズ REW06型、REW12型、REW25型

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害
および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、つぎのようになっています。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

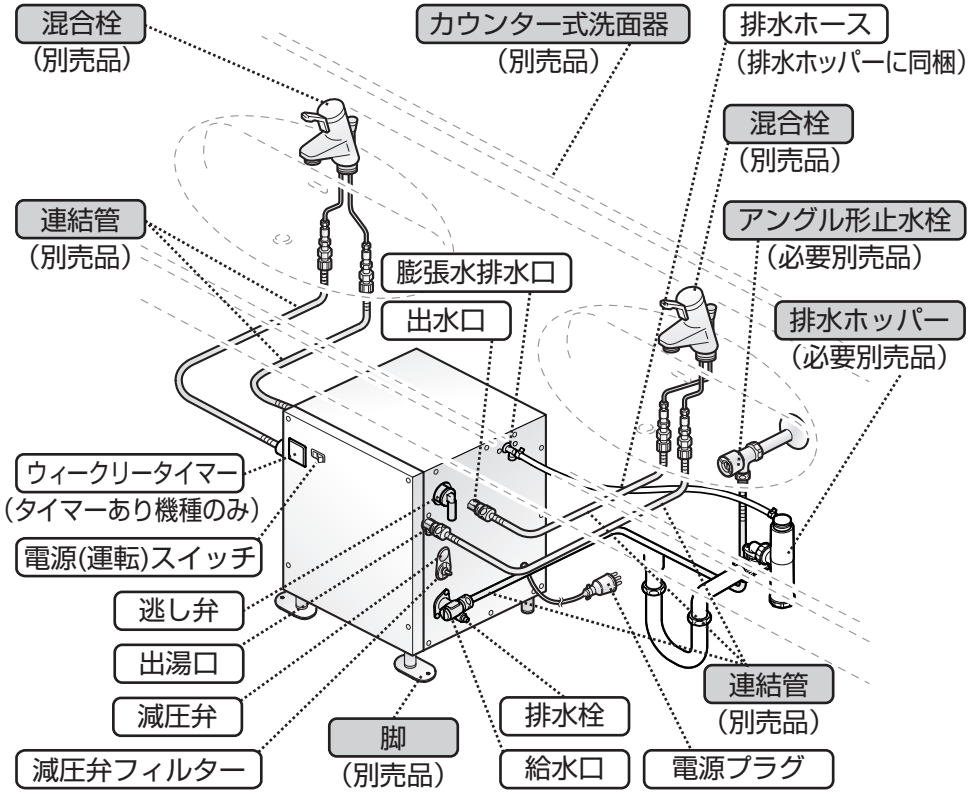
下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な禁止		必ず実行		アースを接続せよ

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。
製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

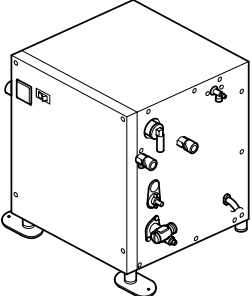
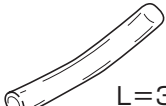
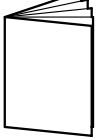
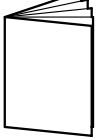
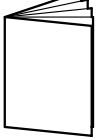
 警告	
	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない （感電や故障の原因になります。）
	指定する電源以外では使用しない（ヒーターの断線・火災などの原因になります。） 電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない（感電・火災の原因になります。）

2 各部の名称



3 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ			
	 L=300mm お客様にお渡しください			
	<table><tr><th>③取扱説明書（保証書付）</th><th>④施工説明書</th></tr><tr><td> お客様にお渡しください</td><td></td></tr></table>	③取扱説明書（保証書付）	④施工説明書	 お客様にお渡しください
③取扱説明書（保証書付）	④施工説明書			
 お客様にお渡しください				

※機種により形状が異なります。

警告

	屋内用のため、屋外には設置しない（感電や故障の原因になります。） コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない（火災の原因になります。）
	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない（故障、感電の原因になります。）
	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）
	中継コードを接続する際は、必ず電源コードを抜く（感電の原因になります。）

注意

	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない（空焚きとなり故障や事故の原因になります。） 水道水以外は、通水しない（井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。） 製品に強い力や衝撃を与えない（故障や水漏れの原因になります。）
	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てて（フィルターを通ったごみが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。） 排水管は、耐熱性のものを使用する（熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。） 凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く「14 機器内の水抜き」を参照ください（凍結破損し水漏れのおそれがあります。） 必ず連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取付ける（凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。） 水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする（空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。） フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めずに、止水栓を閉めてから行う（水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）

おねがい

- 給水圧力は0.05～0.75MPa（自動水栓との接続の場合0.1～0.75MPa）です。
- 必ずフィルター付きアングル形止水栓（必要別売品）を取り付けてください。
- 必ず膨張水処理のため排水ホッパー（必要別売品）を取り付けてください。
- 取扱説明書の保証書に、お買い上げ店又は、工事店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の責任は、当社では、負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。（銅管などで接続されると、機器内のフィルターの清掃が困難になります。）

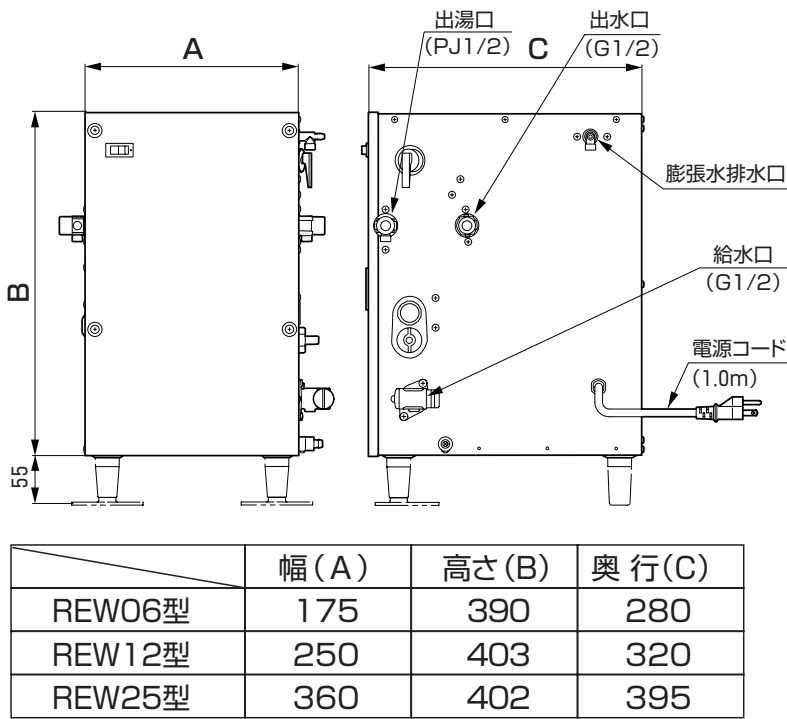
4 仕様

- 給水方式：先止め式（減圧弁、逃し弁内蔵）
- 沸き上がり温度：約75℃固定 ※（おまかせ節電保温時約60℃）
- 使用水圧：0.05～0.75MPa
自動水栓と接続する場合、0.1～0.75MPa
シングルレバー水栓2連設置の場合：0.1～0.75MPa（REW12型、REW25型の機種のみ）
- 使用環境温度：1～40℃（凍結不可）
- 安全装置：温度過昇防止器（手動復帰式バイメタル）
※過電流防止器（ヒューズ）
※はタイマーあり機種のみ

詳しくは取扱説明書を参照してください。

5 寸法図

- 図はREW12型（タイマーなし）の例



6別売品一覧

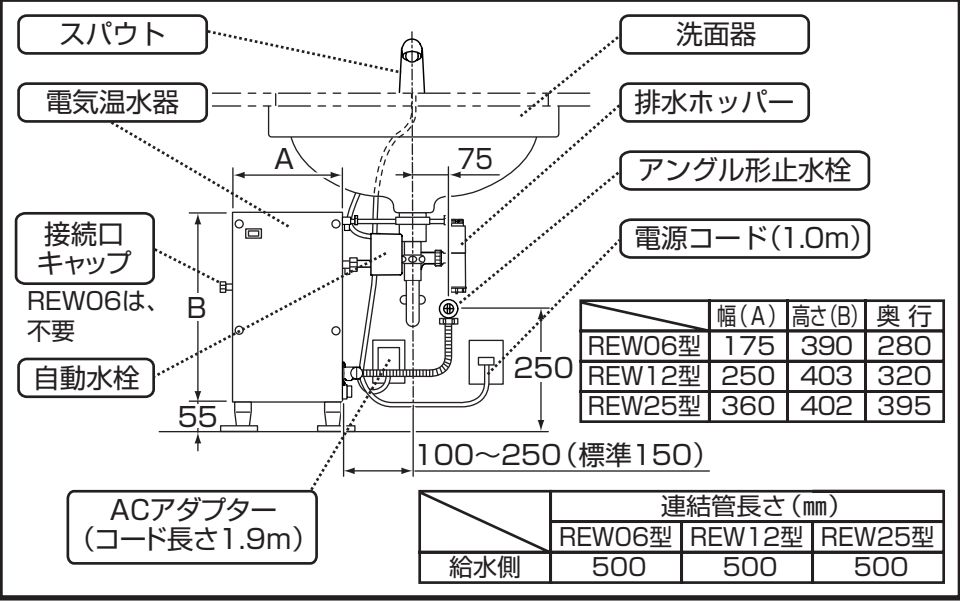
品 名		品 番	備 考		
★排水 ホッパー	密閉式	RHE97H-38	排水配管φ38の場合	膨張水処理用	
		RHE97H-32	排水配管φ32の場合		
		RHE97H-25	排水配管φ25の場合		
	開放式	RHE22H-32	排水配管φ32の場合		
★アングル形止水栓		TL347C	給水用フィルター付き（壁給水用）		
		TL347C1	給水用フィルター付き（床給水用）		
湯ぱっと用脚		RHE1N	床に直接設置する場合および水にひたるおそれのある場合に使用		
中継コード		RHE34	タイマー連動用（タイマー連動機能付製品のみ該当）		
接続口キャップ （ふさぎふた）		TH651	水栓を1個接続する場合に使用（6Lは除く）および自動水栓を接続する場合に使用		
自動水栓 取り付け用脚		RHE654	自動水栓を接続する場合に使用		
連結管		RHE436-50	L500mm×1本	止水栓～本体給水接続用	
		RHE436-60	L600mm×1本		
		TN65LX75	L750mm×1本		
		TN65-9RX	L400mm×1本 L600mm×2本 ニップル×2個	1穴シンク・ルバー混合栓を1個接続する場合	
		TN65-8X	L450mm×1本 L750mm×1本 L600mm×1本	2穴混合栓を1個接続する場合	
		TN65-11X	L500mm×3本 ニップル×2個 接続口キャップ×2個	1穴シンク・ルバー混合栓を1個接続する場合	
		TN65-12X	L600mm×5本 ニップル×4個	1穴シンク・ルバー混合栓を2個接続する場合	
		TN65-13X	L600mm×2本 L500mm×1本 接続口キャップ×2個	2穴混合栓を1個接続する場合	
		TN65-14X	L600mm×3本 L750mm×2本	2穴混合栓を2個接続する場合	

★は、必要別売品です。

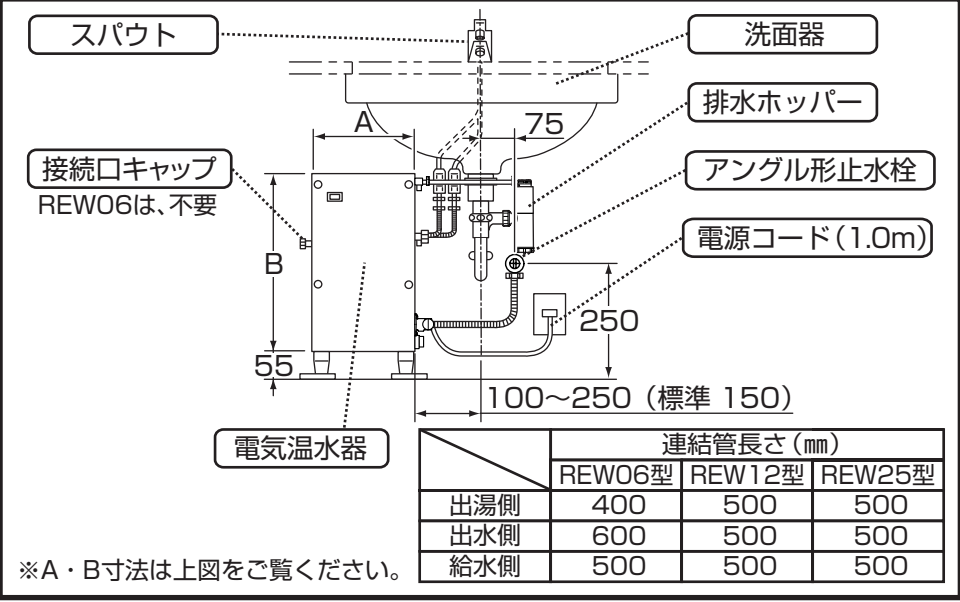
7標準施工図

自動水栓 洗面器1連設置例

※別売品の自動水栓取り付け用脚（RHE654）が必要です。

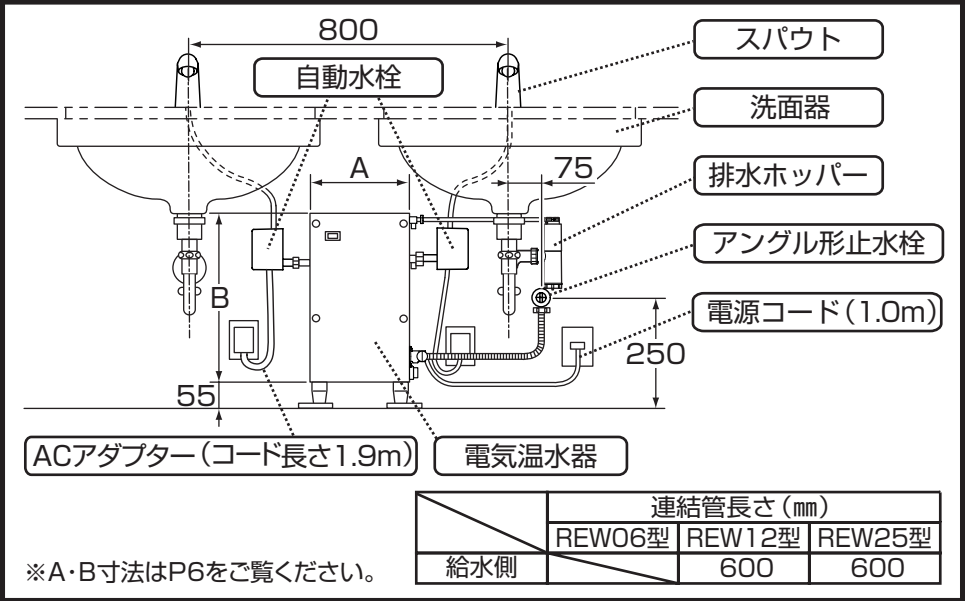


1穴混合栓 洗面器1連設置例

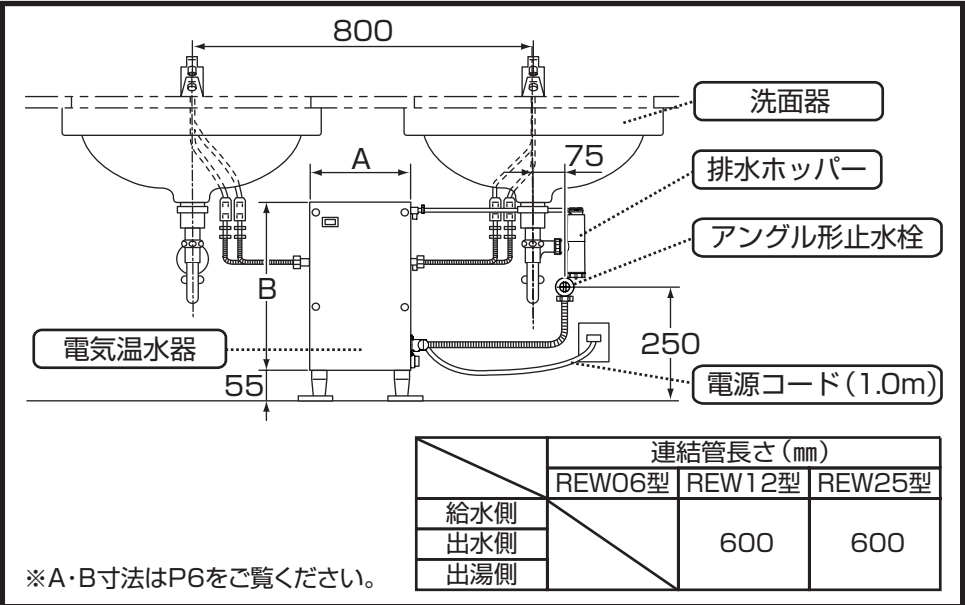


自動水栓 洗面器2連設置例

※別売品の自動水栓取り付け用脚（RHE654）が必要です。

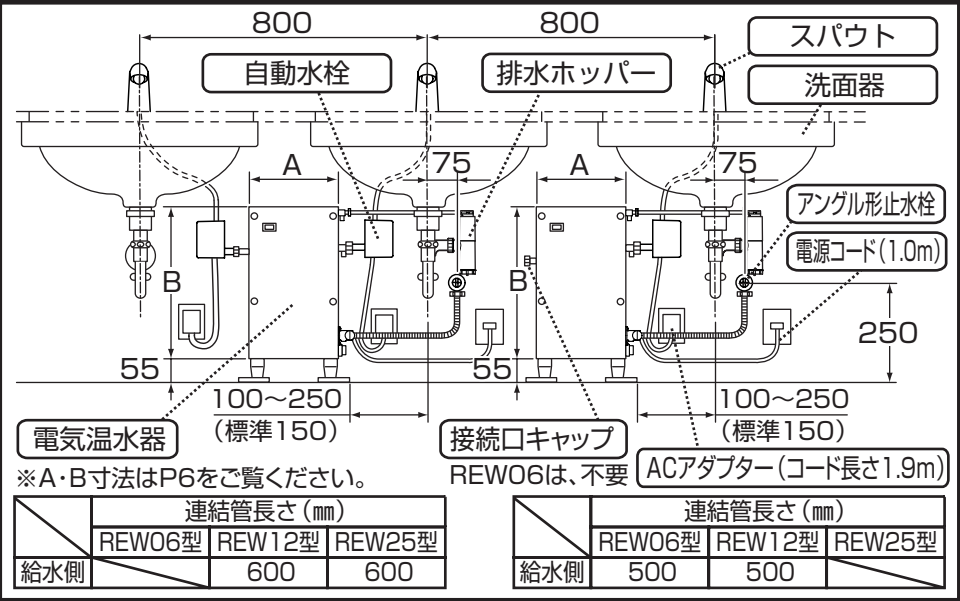


1穴混合栓 洗面器2連設置例

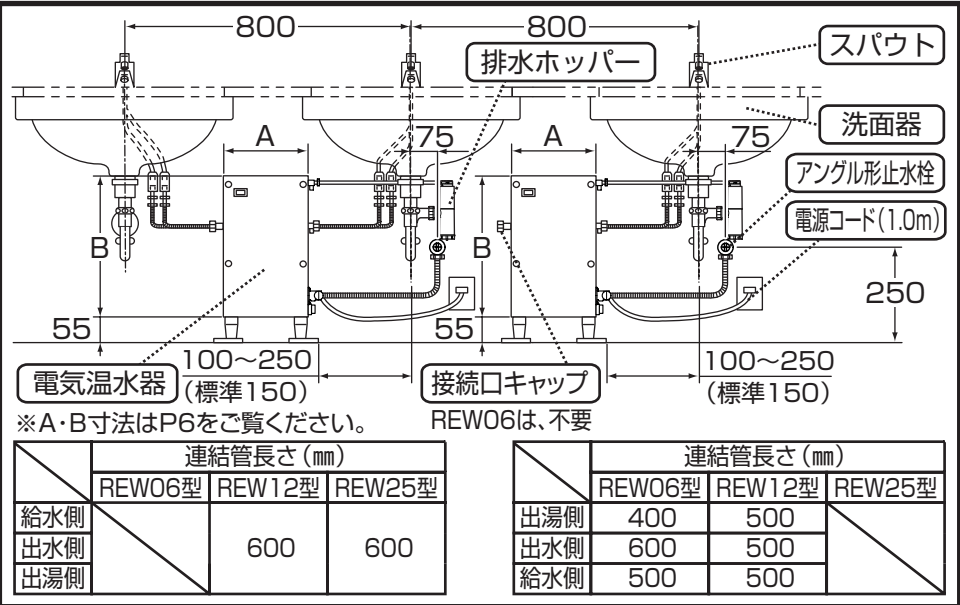


自動水栓 洗面器3連設置例

※別売品の自動水栓取り付け用脚（RHE654）が必要です。



1穴混合栓 洗面器3連設置例



8 電気温水器本体の設置

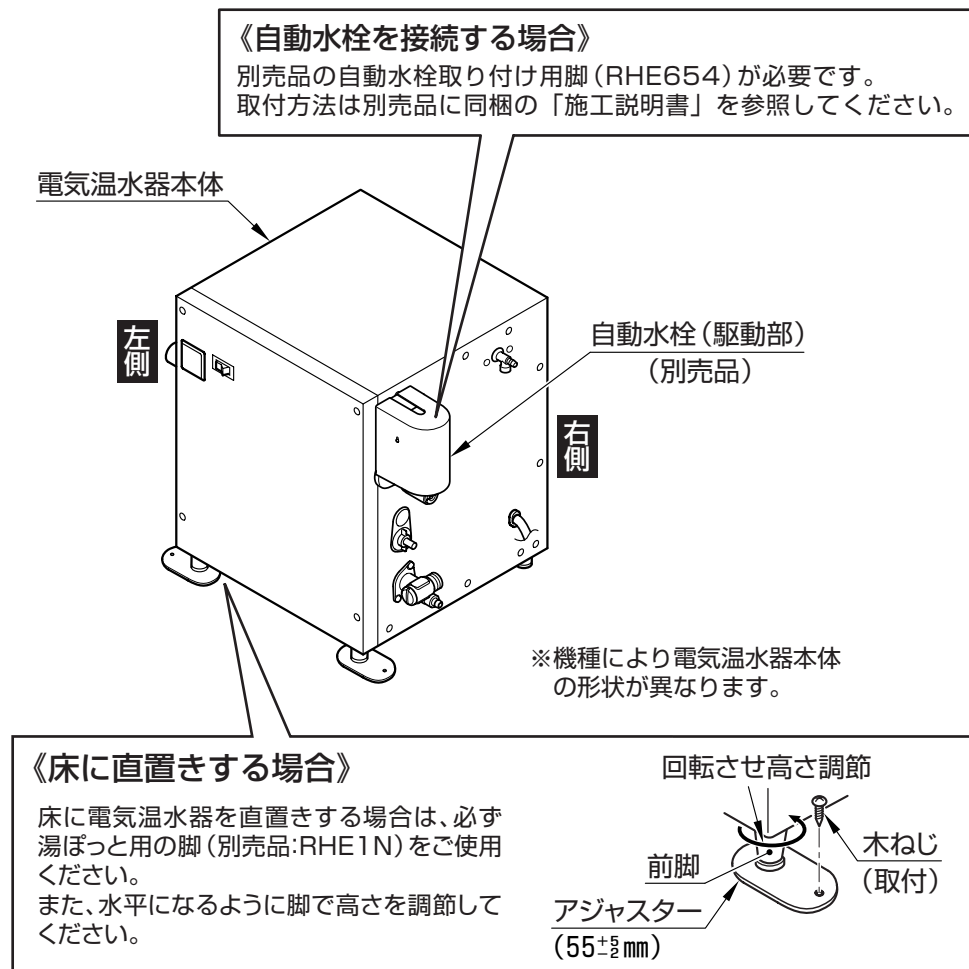


屋内用のため屋外には設置しない
(感電や故障の原因になります。)



水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない
(故障、感電の原因になります。)

下図の要領で電気温水器本体を設置してください。



—9—

9 連結管 (別売品) の取り付け



電気温水器と止水栓の接続はフレキ管を使用する
(鋼管などで接続するとシーリング剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。)

- 建築躯体側配管の配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けしないでください。

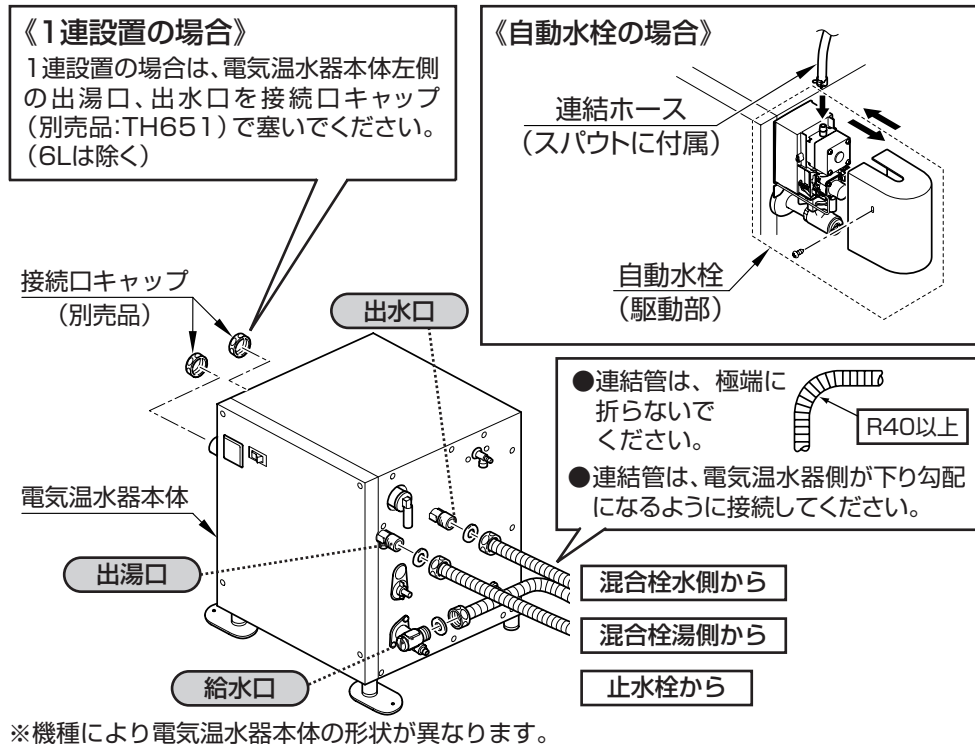
〔接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯が臭うことがあります。〕
必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。

混合栓 (別売品) および止水栓 (別売品) に連結管を接続してください。

※混合栓の 方法は、混合栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。

- 給水口に接続する前に必ず、止水栓を開けバケツ2杯 (約20L) 程度の水を捨ててください。(フィルターを通ったごみが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。)
- 混合栓水側への給水配管は、必ず電気温水器の出水口より接続してください。(減圧弁の故障の原因になります。)

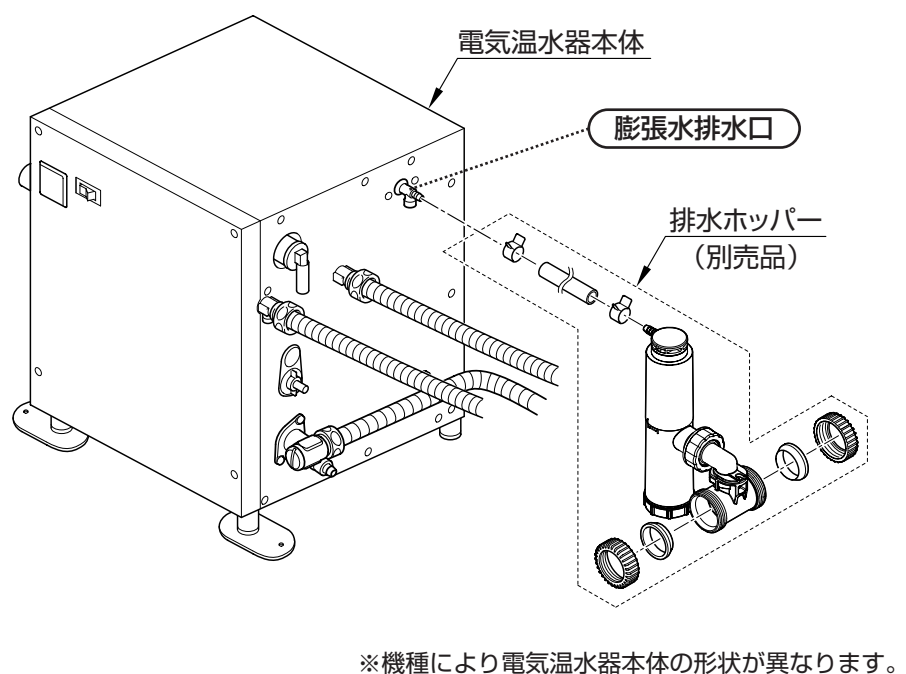
下図の要領で連結管 (別売品) を電気温水器本体に接続してください。



—10—

10 排水ホッパー (別売品) の取り付け

下図の要領で排水ホッパー (別売品) を電気温水器本体の膨張水排水口に接続してください。



※排水ホッパーは必ず、電気温水器1台につき、1個取り付けてください。

※排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」にしたがって取り付けてください。

—11—

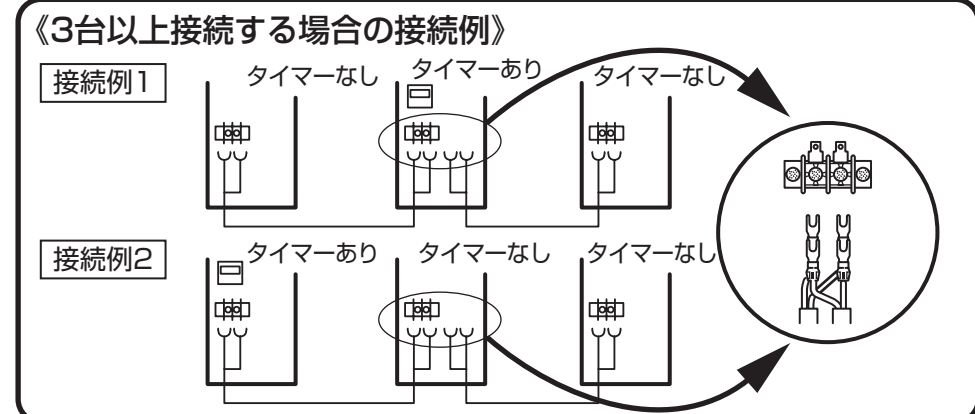
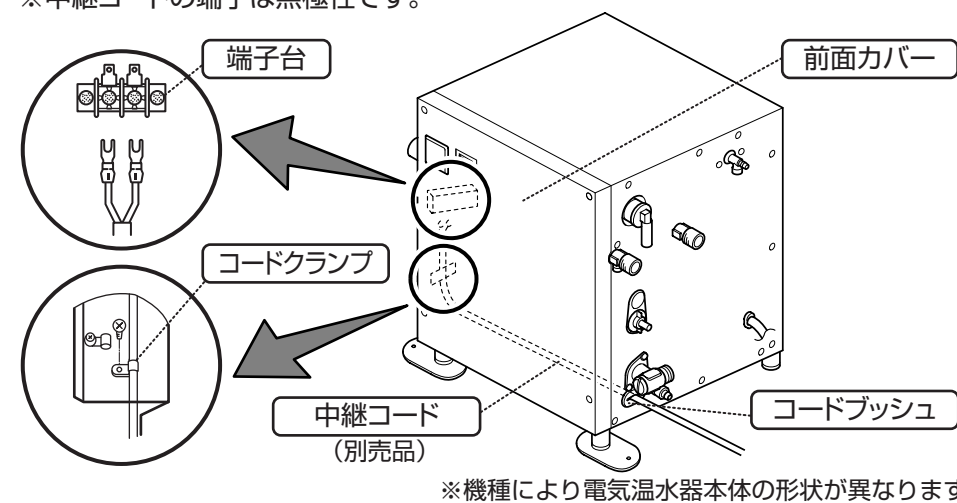
11 中継コードの接続 〈タイマー連動可能商品のみ〉



中継コードを接続する際は、必ず電源コードを抜く
(感電の原因になります。)

中継コードでタイマーありとタイマーなしの電気温水器を連動させる場合は、つぎの手順で中継コードを接続してください。

- ① 電源プラグをコンセントから抜く。
 - ② 中継コードを機器のコードブッシュに通す。
 - ③ 機器の前面カバーを取り外し、端子台に中継コードの端子をねじで固定する。
 - ④ 中継コードをコードクランプで固定する。
- ※中継コードの接続方法は、タイマーあり、なし共に同じです。
※中継コードの端子は無極性です。



—12—

12 電気工事

電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）

消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う
（火災の原因になります。）

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認してください。
- 2) 接地付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保してください。

	品番※	電圧	消費電力	対応コンセント	
REW06型	REW06A1**	単相100V	1.1kW	WK3001（露出型） WF3002EK（埋込み型）	:松下電工 :松下電工
	REW06A2**	単相200V		WK2520（露出型） WF2520（埋込み型）	:松下電工 :松下電工
REW12型	REW12A1**	単相100V	1.5kW	WK3001（露出型） WF3002EK（埋込み型）	:松下電工 :松下電工
	REW12B2**	単相200V		WK2520（露出型） WF2520（埋込み型）	:松下電工 :松下電工
REW25型	REW25A1**	単相100V	1.1kW	WK3001（露出型） WF3002EK（埋込み型）	:松下電工 :松下電工
	REW25C2**	単相200V	2.0kW	WK2520（露出型） WF2520（埋込み型）	:松下電工 :松下電工

※品番は、電気温水器本体側面の銘板で確認してください。

13 試運転

タンクが空のときは絶対に電源プラグをコンセントに差し込まない
（空焚きとなり故障・やけどの原因になります。）

機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。
1) 逃し弁のレバーを立てて、膨張水排水口から1分間ほど水を排出させ続けてください。
2) 逃し弁のレバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けないことを確認してください。
(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1) 電気温水器への給水
《シングルレバー混合栓および2ハンドル混合栓の場合》
①止水栓を開ける。
②混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
③混合栓から安定して水が出はじめるとタンクは満水です。
④混合栓を閉める。
⑤配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

《自動水栓（単水栓）の場合》
①止水栓を開ける。
②逃し弁の手動レバーを引き上げる。
③排水ホッパーから水が出はじめたら逃し弁の手動レバーを元に戻す。
④自動水栓のスパウトのセンサーを動作させ水の出方が安定してくると、タンクは満水です。
(タンクが満水になるまでは空気を巻き込みながら断続的に水が出ます。)
⑤配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

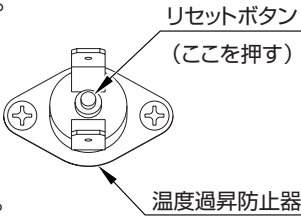
2) 電気温水器への通電 空焚き禁止

- ①タンクが満水になったことを確認し、電源プラグを差し込む。
- ②タイマーを取扱説明書にしたがって設定し、タイマーの運転時間内であることを確認する（タイマーあり機種のみ）。
- ③電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
- ④電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
(ランプは、消灯します)

空焚きリセット方法

※万一空焚きをした場合は、以下の処置を行ってください。

- ①電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。
- ②タンクに水を入れて、タンク内の温度を下げる。
- ③前面パネルを取り外し、タンク側面の温度過昇防止器のリセットボタンを押す。
- ④前面パネルを取り付ける。
- ⑤電源プラグを差し込み、電源スイッチを「入」にする。



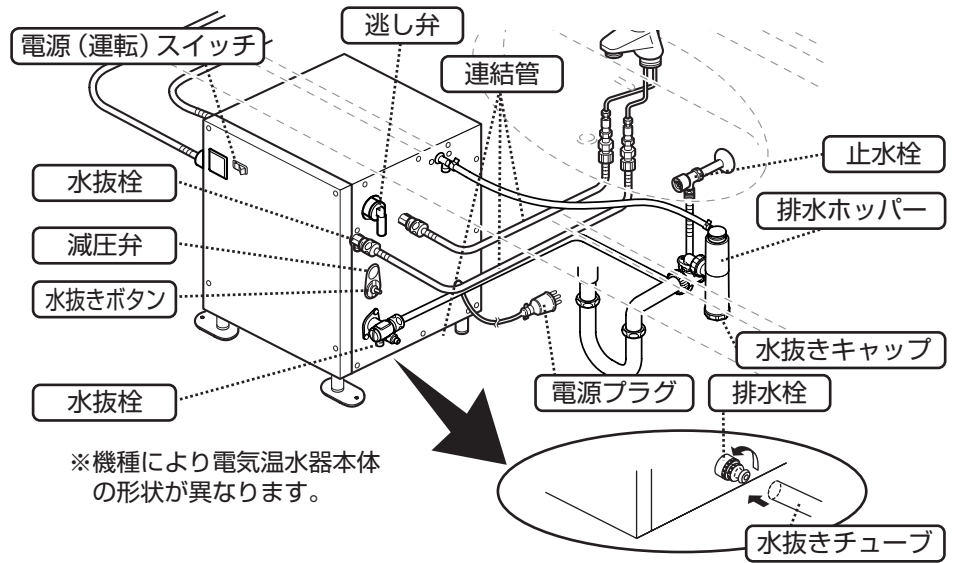
減圧弁、止水栓のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
(掃除の方法は、取扱説明書を参照してください)

減圧弁、逃し弁は消耗品です。
劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。

14 機器内の水抜き

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
(凍結により破損し、水漏れするおそれがあります。)

- 〔水抜き手順〕
①電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
②混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。
注) タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
③止水栓を閉める。
④逃し弁の手動レバーを引き上げる。
⑤同梱の水抜きチューブを機器本体の排水栓に接続し、排水栓を開け、タンク内の水を抜く。
注) 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。
⑥減圧弁の水抜きボタンを押し、配管および減圧弁内の水を抜く。
注) 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。
⑦排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。
⑧水抜きが完了したら機器本体の排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。



配管の凍結予防

電源（運転）スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。